

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 環境-01 清掃一般運営事業 <input type="checkbox"/> 支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
	環境施設課 関連課 環境政策課 資源循環課				1318	清掃運営事業	
主管課	環境施設課		関連課	環境政策課	資源循環課	1208	一般廃棄物処理施設建設基金積立金事業
分野名	生活環境					557	生活環境審議会事業
目標 (目標値)	一般廃棄物処理施設の再編整備計画の策定						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	26,160千円	24,891千円				
	(国・県)						
	(負担金等)	2,199千円	1,489千円				
	(一般財源)	23,961千円	23,402千円				
	人員配置数	3.5人	3.5人				
	人件費	31,790千円	32,494千円				
協働の パートナー						指標と評価	
事務事業 運営経費	総事業費	57,950千円	57,385千円				
	市民1人当 りの経費	328円	325円				
	対象者1人 当りの経費						
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・本市の一般廃棄物処理施設の再編整備に向けて、生活環境整備審議会の審議を踏まえ、その方向性を決定すること。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・本市の一般廃棄物処理施設の再編整備のあり方についての検討を進めるとともに、生活環境整備審議会から喫緊の課題である焼却施設の延命化及び最終処分場について提言をいただいた。 ・焼却施設については名越クリーンセンターの10年を超える延命化をすること、最終処分場については、農業振興地域の農用地区域を一時使用しているものでもあることを踏まえ、今後、地権者、農業委員会、神奈川県等関係機関と十分な調整を行い、廃止に向けた手続きを進めることが適当であると提言された。					
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・本市全体の一般廃棄物処理施設の再編整備に向けて、今後の生活環境整備審議会の審議を踏まえて、その方向性を決定すること。					
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・生ごみを資源化する施設、焼却施設、最終処分場を除くその他の一般廃棄物処理施設の整備については、引き続き生活環境整備審議会の意見を踏まえ、施設ごとにその具体的な検討を進める。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	本市の一般廃棄物処理施設の再編整備については、循環型社会の形成に寄与するとともに、安定的な処理体制が確立できるよう考えていくことが必要であり、生活環境整備審議会等の意見を踏まえて、その方向性を決定していく。		評価結果	改善の必要性	本市全体の一般廃棄物処理施設の再編整備について、生活環境整備審議会等の意見を聴いて、方向性を決定していく。	
A	有			A	有		
課長名	柿崎 雅之			部名・部長名	環境部 相澤 千香子		